

第5回歯科技工士の養成・確保に関する検討会	参考 資料 1-2
平成31年1月17日	

第4回歯科技工士の養成・確保に関する検討会	資料 3-2
平成30年11月19日	

歯科診療所に勤務する 歯科技工士について

厚生労働省『歯科技工士の養成・確保に関する検討会』 参考人
三嶋歯科医院 歯科技工部長 扇 照幾

医療法人柏葉会 三嶋歯科医院

みしま歯科 7 条院

歯科医師 2 名 歯科衛生士 2 名 歯科技工士 3 名 助手 2 名 受付事務 1 名 事務員 1 名

(社)日本口腔インプラント学会 認定講習会指定施設

みしま歯科 栗沢院

歯科医師1名 歯科衛生士 2 名 受付事務 1 名

社会福祉法人 特別養護老人施設 いちい荘へ訪問診療

技工部のタイムスケジュールの1例ですが、ブリーフィングの後にはそれぞれの担当した作業モデルの作成に取り掛かります。

基本的には研磨等の粉塵の出る作業は午後の後半で行います。1日の診療時間の中で患者さんと対面する事はこれらの合間で発生しますが、予約時間を把握しているので、その事を考慮して1日の作業スケジュールを立てます。

保険診療に関わる
歯科補綴物全般
セラミック類
インプラント上部構造



院内ラボで作成

ノンクラスプデンチャー
サージカルシステム
CAD/CAM類



歯科技工所へ委託

歯科補てつ物等を製作するための歯科医師からの主な指示

歯科医院の
委託歯科技工所

歯科技工指示書
+
営業担当者からの
申し送り事項



歯科診療所内の
歯科技工室

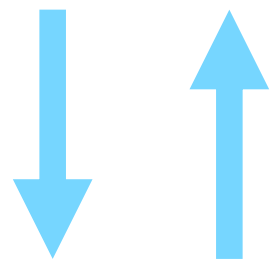
歯科技工指示書
+
歯科医師からの
直接の指示
+
患者からの情報



歯科補てつ物等を製作する歯科技工士

歯科診療所における歯科専門職のチーム医療

歯科医師
+
歯科衛生士
+
歯科技工士



患者

治療開始時から参加する事により、
最終歯科補てつ物等について情報
を共有することができる。

また、色調や形態について、歯科
医師の説明と歯科補てつ物等の製
作者である歯科技工士が患者とコ
ミュニケーションをとることで、患者
の安心に繋がる。

患者とのコミュニケーション

歯科技工指示書

+

歯科医師からの
直接の指示

+

患者からの要望



補綴物製作開始前に患者からの要望が聞ける。



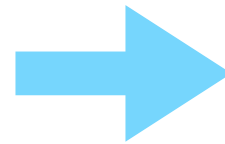
患者さんへの留意点
心理的な特徴
精神的変化
各種老年症候群

患者さんへの配慮
個人への尊敬
公平性
自尊心
記憶力(認知)

歯科診療所における歯科医師と歯科技工士の連携ポイント

診断・治療計画

- ① 模型診断
- ② 診断用ワックスアップ
- ③ 口腔内写真・顔貌写真



治療開始

- ① 初期治療
- ② 最終補てつ物の決定



最終歯科補てつ物の再評価

歯科診療所における歯科医師と歯科技工士の連携ポイント

最終補綴物決定における活用

1 最終補綴物の設計

(1) 歯牙欠損症例における補綴物の設計

(2) 残存歯牙への対処方の決定

2 咬合の設計と決定

(1) 額位・咬合高径・咬合平面の設計

(2) ガイド量の設計

3 最終補綴物の形態の設計

(1) 歯周組織との形態調和

(2) 咀嚼・発音の審査

(3) 色調等の審美性への設計



動的情報の共有

リコール・メンテナンスに対応した例



リコール・メンテナンスに対応した例



インプラント等の症例では、術前の状態での残存歯の処置、対合歯の状態とその処置の有無も含め、治療計画時から参画し、理想的な補綴処置をするために1役を担っていると思っております。

歯科診療所に歯科技工士が勤務することのメリット

- ①義歯修理やインプラントなどのメンテナンス等について、
迅速な対応が可能である。
- ②審美歯科領域の歯科補てつ物等の製作には、欠かせない細かな情報共有が密である。（リップサポート、スマイルライン、
フックスアップ、テンポラリークラウン等）
- ③歯肉や歯冠乳頭に関する諸々は、歯科医師からの指示と共に口腔内を観察できる。また、歯科技工士が、歯科補てつ物等がセット
されてからの予後を知ることが容易である。
- ④症例によっては、歯科医師と歯科技工士の連携を密にした患者に
寄り添った歯科治療が可能である。

製作者の顔が見える歯科補てつ物

今回の「歯科補てつ物製作過程等の情報提供推進事業」を行うことによって患者に歯科医療におけるチーム医療をアピールすることができ、患者とコミュニケーションをとることで、歯科医療に対する安心感が芽生える。加えて、歯科技工士のモチベーションも向上し、より良い結果に結びつくと考えます。

人工臓器としての機能回復を目指す医療

安全性
信頼性

トレーサビリティ



製作者の顔が見える歯科補てつ物

今回の「歯科補てつ物製作過程等の情報提供推進事業」を行うことによって患者に歯科医療におけるチーム医療をアピールすることができ、患者とコミュニケーションをとることで、歯科医療に対する安心感が芽生える。加えて、歯科技工士のモチベーションも向上し、より良い結果に結びつく。

そのためにも

しっかりと治療計画を立て、それを患者に的確に伝えることが求められる。

その結果

それぞれの立場で、歯科専門職としての高い見識が生まれ、より歯科医学的に優れた口腔内環境が保たれる。また、患者も担当した歯科医師も満足する結果になれば、歯科技工士も誇りを持つことができる。

検討会に期待すること

歯科診療所に勤務する歯科技工士としてチアーサイドでの業務の必要性を感じている。また、歯科技工士は歯科補てつ物等を製作する歯科専門職であるという崇高な信念を持つべきであり、医療に携わっていることに誇りを持ち、患者を意識した歯科技工士基礎教育が必要である。そのためには、医療を身近に感じることができる環境を積極的に取り入れるべきであろうかと考えます。

この検討会が、国民に安心・安全な歯科医療を提供するために、歯科技工士教育の高度化を図り、資質の高い歯科技工士を育てることについて真摯な議論の場となることを期待する。

ご静聴ありがとうございました。